

I 強い揺れへの備えと対策を行う

選択・集中テーマ：家庭における耐震対策を進める

- ◆住宅の耐震化の促進
- ◆部分的な耐震改修など高齢者等住宅の安全・安心を高める対策の検討
- ◆家具固定、転倒防止対策の促進
- ◆防災ノート等の活用による防災教育の推進

II 津波への備えと対策を行う

選択・集中テーマ：避難をあきらめないための対策を進める

- ◆津波避難に関する三重県モデルの促進
- ◆海拔ゼロメートル地帯等における広域避難体制の検討
- ◆大規模移送にかかるバス事業者との協定の締結
- ◆地域の津波遺産継承のための過去の津波痕跡・教訓の発掘
- ◆防災ノート等の活用による防災教育の推進(再掲)
- ◆海岸堤防における地震・津波対策の推進
- ◆河川堤防における地震・津波対策の推進

III 「防災意識」を「防災行動」に結びつける

選択・集中テーマ①：防災人材が地域で活躍するための対策を進める

- ◆「みえ防災・減災センター(仮称)」による防災人材等リソースの活用
- ◆市町、地域、企業等における防災人材の活動支援
- ◆女性防災人材の育成
- ◆津波避難に関する三重県モデルの促進(再掲)
- ◆三重県避難所運営マニュアル策定指針の活用促進

選択・集中テーマ②：防災教育を通じて、次世代の防災の担い手を育てる

- ◆学校防災リーダーの養成
- ◆防災ノート等の活用による防災教育の推進(再掲)
- ◆防災に関する学校と地域との連携の推進
- ◆「学校における防災の手引」の活用

IV 災害時に特別な配慮が必要となる人々への対策を行う

選択・集中テーマ①：命が危ぶまれる災害時要援護者への対策を進める

【障がい者・高齢者】

- ◆災害時要援護者の個別支援計画作成の促進
- ◆福祉避難所の指定等の促進
- ◆介護保険施設(特別養護老人ホーム・介護老人保健施設)の相互支援協定の締結促進
- ◆災害時における障がい者の障がい特性についての理解を促進させる研修の実施
- ◆災害時要援護者支援用具等の利用促進及び新たな支援用具等の研究・開発促進

【外国人住民】

- ◆外国人住民を対象とした防災啓発の実施
- ◆「みえ災害時多言語支援センター」を通じた支援の実施
- ◆「避難所情報伝達キット-絵表示・多言語-つ・た・わ・るキット」の活用促進

選択・集中テーマ②：命が危ぶまれる観光客への対策を進める

- ◆主要観光地の防災対策にかかる課題検討の場づくり
- ◆災害時帰宅支援ステーションの協定締結の推進
- ◆大規模移送にかかるバス事業者との協定の締結(再掲)
- ◆観光事業者・観光関係団体を対象とした防災面からの人材育成
- ◆観光客への対応を想定した訓練の実施

V 発災後72時間の救助力・輸送力を強化する

選択・集中テーマ①：命をつなぐ「災害対策本部機能・体制」を強化する

- ◆災害対策本部における初動期の機能・体制の確保・強化
- ◆津波浸水を考慮した参集のあり方及び災害対策本部代替機能の検討
- ◆職員の防災対策の推進
- ◆三重県業務継続計画(BCP)の策定
- ◆海底地震観測網を活用した情報の確保
- ◆新たな防災情報プラットフォームの構築

選択・集中テーマ②：命をつなぐ「緊急輸送・拠点機能」を確保する

- ◆広域防災拠点の整備・機能強化
- ◆緊急輸送道路の整備
- ◆高速道路等のミッシングリンク(未開通区間)の解消
- ◆道路啓開対策の推進
- ◆緊急輸送ヘリコプターの燃料確保
- ◆総合防災訓練(実動訓練)の実施

VI 命をつなぎとめるための災害医療機能を強化する

選択・集中テーマ：命をつなぐ「災害医療体制」を構築する

- ◆災害時の医療を迅速かつ円滑に提供できる体制の整備
- ◆災害拠点病院等の耐震化の推進
- ◆災害拠点病院の被災を予測した補完機能の確保
- ◆SCUの機能の確保
- ◆地域における災害時の医療に関するコーディネート機能の確保
- ◆地域における災害医療ネットワークの構築
- ◆避難所や救護所における医療ニーズの収集方法の検討(体制、ルール作り)

VII 県民生活の再建復興への準備を進める

選択・集中テーマ：被災者の生活再建を早める復興プロセスを 事前に構築する

- ◆「三重県復興指針(仮称)」の策定
- ◆住宅復興計画策定のための事前検討
- ◆災害廃棄物処理計画の策定
- ◆被災時の緊急雇用創出のための情報収集とノウハウの蓄積
- ◆地震津波に強い都市計画指針検討